

統計だより

2020年は5年に1度の国勢調査！

長崎県県民生活環境部統計課人口生活統計班 石川 智彦

令和2年10月1日は、国勢調査が実施されます！

国勢調査は、大正9年の第1回調査以来、国の最も基本的で重要な調査として実施しており、令和2年に実施する調査はその21回目に当たり、実施100年の節目を迎えます。

統計法の規定に基づいて実施される回答義務のある統計調査であり、日本国内に居住する全ての人々が調査対象となる全数調査です。

調査では、国内の人口・世帯の実態を把握し、各種行政施策の基礎資料を得ることを目的としています。

調査結果は、地方交付税の算定や人口減少対策へ活用されるなど、とても重要な調査です。

皆様の回答をお願いします。

国勢調査って何？

国勢調査は、大事かばい！！



【調査概要】

〈調査期日〉 令和2年10月1日（木）午前零時現在

〈調査期間〉 9月14日（月）～10月20日（火）

〈インターネット回答期間〉 9月14日（月）～10月7日（水）

〈調査票（紙）の回収期間〉 10月1日（木）～10月7日（水）

※今後、調査スケジュールについては、変更の可能性があります。

調査票と一緒にインターネット回答用IDが配布されます。

インターネットでご都合に合わせて回答できます！！

長崎県では、インターネット回答を推進しています！

日本近代統計の祖 杉亨二 先生と「国勢調査」

国勢調査と杉亨二氏のつながり

長崎で生まれた杉亨二氏は、江戸に出て勝海舟と出会い、勝塾の塾頭となります。

その後、江戸幕府に仕え、明治維新後も徳川家に仕えるなか、静岡藩沼津にて人口調査を実施しましたが、一部地域での調査と集計にとどまりました。

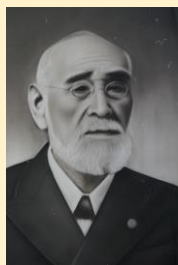
杉氏の能力を買っていた明治政府より声がかかり、明治12年、現在の山梨県で国勢調査の試験調査とも言える「甲斐国現在人別調」を実施しました。

杉氏はこの調査を全国に広げたいと努力しましたが、財政問題や日露戦争の影響等のためなかなか実施に至らないなか、大正9年、遂に第一回国勢調査が実施されることとなりました。

杉氏は国勢調査準備委員会委員として活動していましたが、国勢調査が実施される目前に90歳で亡くなりました。

杉氏は統計の重要性、特に国勢調査の必要性を身をもって示した近代の偉人でした。

近代統計の祖



杉 亨二
(すぎ こうじ)

長崎県出身
1828年～1917年

明治4年に太政官正院に設置された政表課（統計局の前身）の大主記に任ぜられたことから、初代の統計局長とされています。我が国の統計学の開拓者にして、近代統計調査の先駆者であり、統計教育の先覚者であることから「日本近代統計の祖」と称されています。

キャラクターになりました！



杉 さん